

■ 山形県高島町立高島第三中学校 (山形県高島町)

今から約6~7年ほど前には、早くも職員専用のLANが構築されていた高島第三中学校。当初は「プリンターを皆で使えるようにしただけ」の簡単な仕組みで、パソコンのほとんどを私物に頼っていたそうです。しかし電子化による業務の負担軽減や、ミレニアムプロジェクトを踏まえて、逐次パソコンを整えLANも拡大構築。そこで必要に迫られてきたのが他校同様に情報セキュリティ対策です。「情報の漏えい」「先生の領域に生徒を進入させない」が大きな課題でした。

高度な情報セキュリティは当然ながら、先生方の視点は使いやすさにも置かれていました。そしてこの点が高く評価され2003年11月にHard Lockが導入されました。今ではHard Lockの仕組みを詳しく知らない先生でも「大切な情報はキーを挿して使う」がきちんと習慣化されているそうです。



高島第三中学校でのHard Lock活用ポイント

●Hard Lockは「情報漏えい防止作戦」に欠かせない存在

～うっかりを未然に防ぐために高島第三中学校が打った対策～

●Hard Lockを使って安全にアクセス区分

～USBキーを使えば校内どこでも重要ファイルの作業が可能～

●扱いやすさがセキュリティを維持

～日常業務から引き継ぎまでスムーズ&簡単運用～

■教員業務

生徒個人情報の管理(学習指導、成績表、名簿等)

行事案内、保護者へのお知らせ等の文書管理

テスト用紙の作成と管理

出張経費精算などの校務処理

教職員間の連絡事項伝達と情報共有 ほか

■授業

美術の授業にて、好きなイラストを用いての作品制作と保管

技術家庭の授業にて、ワードやエクセルの使用法の学習

音楽の授業にて、専用ソフトによる作曲とデータ保管

国語の授業にて、掲示板を利用した感想文記述

インターネット利用による調べ学習 ほか

Hard Lockは「情報漏えい防止作戦」に欠かせない存在



▲高島第三中学校の情報担当、安藤先生。
パソコンに詳しく学校のサーバも先生が
手がけられたとか

近隣他校よりも早く、そして積極的に校務にパソコンを取り入れた高島第三中学校。効率良い校務処理を目指し指導要録や調査票、成績表、生徒の名簿等を順次デジタル化していきました。その背景には個人情報の紛失をできるだけ防止したいとの強い危機感があつたそうです。折しもその頃「車上荒らしに合い、通知票の入った鞆が盗まれる」といったニュースが度々世間を騒がせていました。決して他人事ではないという危機意識から、重要情報の管理方法をあらためて検討。そして導いた答えが紛失しやすい「紙」での保管は止め「情報をデジタルで保管」でした。しかしフロッピーディスクに移して持ち歩くようでは意味がありません。そこでHard Lockの登場です。大切な情報はサーバに格納しUSBキーを差し込んで

呼び出すようにすれば、万が一のうっかりも防止できます。

「情報の漏えいはとても恐い。特に生徒が特定できる個人情報については細心の注意が必要です。不注意を誘発する可能性は少しでもつぶしておくべきだと考えました。本校では安全な情報管理に Hard Lock を採用しました。鍵を用いるという方法はわかりやすいですし、使う側も納得できるんです」と安藤先生はおっしゃいます。Hard Lock を用いるようになってから先生達のセキュリティ意識がより高まり、パソコン使用も増えたそう。「安全に使えるという意識がパソコン使用を活性化させているようです」。

Hard Lockを使って安全にアクセス区分

高島第三中学校の LAN には 3 つのエリアがあります。昔の LAN の名残であるエリア、新しく追加増設したサーバが置かれたエリア、そして生徒達が使うエリアです。これまで職員エリアと生徒エリアの間にルーターを置いてエリアを分離することで、生徒の進入を防いでいました。しかし教員が 2 つのエリアの行き来も制限されていたという弊害も発生していました。

「授業中に欲しいデータが教室で引き出せなくて、急いで職員室に戻るものがよくありました。また空き時間に教室やパソコンルームで校務がしたいとの要望もありました。Hard Lock は

USB キーによってアクセスできるエリアを安全に切り替えられる。

この仕組みはまさに私達のニーズにぴったりでしたね」と安藤先生。Hard Lock を導入してからは、職員室に走って戻るような面倒から解放されたとのこと。また生徒だけでなく悪意ある他者も進入できない、USB キーを持っている人だけが重要な情報にアクセスできる事実は予想以上に安心感をもたらしているようです。



扱いやすさがセキュリティを維持させる



▲40 台のパソコンが設置されている教室。

生徒達はここで作品作りや調べ学習に夢中になる

Hard Lock は仕組みを紐解けばとても複雑なのですが、使う側から見れば実に簡単です。USB キーを挿してパスワードを入力するだけ。USB キーを持っていないでは何も始まりず、また USB キーがあってもパスワードが判らなければアクセスできない単純明快さです。

「実際に本校でも Hard Lock の仕組みをきちんとわかっている先生はほとんどいないです(笑)。ただ、使い方と使用ルールだけはきちんと理解してもらっています。パソコン初心者でも抵抗なく使える簡単さがいいのでしょうか。鍵を使うという方法はとてもわかりやすい」と安藤先生。

高島第三中学校では、Hard Lock 導入とともに生徒の情報などの重要書類はサーバ上で保管し、他のパソコンの内部には置かないようにするルールを決めたとのこと。

また校務で発生した文書もサーバに残すようにしています。

「先生のなかにはご自身のパソコンを活用している人も多いです。異動の時にそのパソコンも一緒に持って行ってしまうがゆえ、生徒情報までうっかり持って行ってしまうミスも防げます。出張中の先生の仕事を他の先生が引き継ぐときも、その都度データを受渡するのではなく、USB キーを挿してパスワードを入力し、サーバにアクセスするだけで、その継続ができる。いろんなことがスムーズになりました」。

危機管理の大切さが叫ばれている現在、生徒の個人情報を扱う学校にも高度なセキュリティ対策が求められます。しかし情報セキュリティ対策を堅固にしたがために、使い勝手が悪くなっては本末転倒。「使い方が簡単、なのに高度なセキュリティを維持」は決して無理な要望ではないことを、高島第三中学校での Hard Lock 活用風景が教えてくれています。

■学校プロフィール

高島町立高島第三中学校

所在地: 〒992-0262 山形県東置賜郡高島町大字元和田 650

開校: 1959年4月

URL: <http://www.h5.dion.ne.jp/~taka3/>